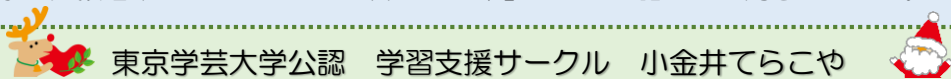




● 今月のテーマ「サポーター」 ●

公民館貫井北分館へようこそ！今月のテーマは「サポーター」。公民館にも、さまざまな活動を支えてくれるサポーターがいます。今回は、小中学生に無料で学習支援活動をしている「小金井てらこや」さんにお話しをお聞きしました。



東京学芸大学公認 学習支援サークル 小金井てらこや

先輩から代表のバトンを受け取ったばかりの代表 砂田弘明さん（大学1年生）にお話しをお聞きしました。教員を目指している砂田さんは、「教える」ということ実際に経験するためにこの活動に参加したそうです。

「小金井てらこや」では、学校や塾とは違い、活気があるけれど集中して勉強に取り組む環境を大切にしています。また、勉強以外の楽しみも味わえ、交流が深まるような季節ごとのイベント（12月はクリスマス会）も開いています。

「小金井てらこや」は、子どもたちのサポーターとして学習支援をしているだけでなく、自分自身も学べるサークルを目指しているそうです。教えてくれる大学生は、将来教員を目指す東京学芸大生が中心ですが、さまざまな子どもたちのニーズに対応できるように、他大学の学生さんも募集中！

現在、公民館本館中心ですが、来年4月からは公民館貫井北分館での活動も検討中。「小金井てらこや」にサポーターとして参加したい、学習支援を受けたいと思っているみなさん、問合せみませんか？

《小学部》

毎週火曜日 18:00-19:30

子どもたちとのふれあいを大切にしています。

《中学部》

毎週月・木曜日 18:30-20:50

質問に答えたり、勉強のポイントをアドバイス。一緒に学習に取り組んでいます。詳しくはホームページをご覧ください。



小金井てらこや

出佐さん 砂田さん 高野さん

<http://koganeiterakoya.digi2.jp/>

みなさんにとっての「サポーター」は、どんなイメージですか？今回は公民館に視察に来た大学生のみなさんや若者コーナーのサポートメンバーにきいてみました。ちなみに公民館職員は、みなさんのサポーター（応援者）です！

サポーターという立場を経験してみて、相手のことを引き出す難しさを知りました。自分の思う通りに誘導してはいけないということに神経を使います（・v・）

おこめ 女性
大学3年生



「サポーター」という言い方をあまりしないのですが、私は巨人を応援しています！数えてみたら10年以上経っていました。プロ野球好きが興じて、神宮球場でアルバイトをしています。今シーズンはヤクルトが日本シリーズに進出したため、他のどの球場よりも長い間働くことができました。巨人が負けたため複雑ですが、大学生生活の最後の年に良い思い出ができました。

F.セペダ 男性 大学4年



私は大学のアイスホッケーというマイナースポーツのマネージャーとして日々活動しています。練習の時間が深夜だったり、なかなか大変なことも多い毎日ですが、スケートすらしたことのなかった部員たちが、堂々とプレーする姿を見ると、いつも目頭が熱くなります。彼らをサポートすることで、私も生活の中で生きがいを「サポート」されていると感じます。



F.K. 女性 大学3年生

小さい頃南米で暮らしていて、同級生が少なく、ちょっと上の先輩や地域と対話や助け合いのなかで育ちました。それが今の自分の力になっています。今、子ども会や「ミニこがねい」、公民館の若者コーナーのサポートをやっているのは、その時の経験が潜在的にあるからかもしれません。お互い様、それがサポートかもしれません。

S.H. 女性 大学2年生

高校時代に硬式野球部の女子マネージャーとして3年間過ごしました。部を下から支える立場となり、チームに必要なものは何か？わたしは何をすればいいのか？と考える日々でした。プレーするわけではない私たちが、彼らの気持ちを正確に読み取るのは、本当に難しく悩んでもありました。

最後の大会が終わったとき、プレーヤーから「マネージャーがいなかったら、俺らはいままで出来なかった。ありがとう。」といわれました。サポートする、ということは目立たないながらも、とても素敵なことだといまでも思っています。

女子マネ 女性 20代

